

標 題： Dietary Survey Methods in Studies on Cardiovascular Epidemiology  
心臓血管系の疫学に関する研究における食事調査方法

---

著 者： Ancel Keys (米国 ミネソタ大学 生理学的衛生学研究室)

---

掲 載 誌： Voeding 26: 464-483 (1965)

---

(はじめに) 住民の食事に関する研究で多くの方法が使用される。

普遍的に推奨できるものはないけれども、大部分の方法は1つまたはもう1つの目的に役に立つ；方法の選択には、研究の目的の注意深い定義および特に興味のある状況における現実性の考察を必要とする。

残念ながら実際的な限界が厳しいので、理論的な理想に近い方法よりも比較的容易で適用コストが低い方法が好まれる傾向がある。

その上、単一厳密に定義した目的に限定した研究は少ないので、考慮する1つまたはもう1つの目的に良い方法との間で妥協される。

住民についての食事知識の獲得には一般的に数段階の改良を伴う：

- 1) 食品の生産、輸入、輸出、損傷および人の消費から工業用への転用と廃棄による食糧需給データから生じる食品供給の、一般的特徴および妥当性の全体的な評価；
  - 2) 住民の地域間および都市と田舎の間で、これら食品の正味供給の分布を確認する必要がある。必要な方法および上記1)におけるさらに一般的な方法は、ここで我々に重要ではない；
  - 3) 大部分の食事研究の最終的な関心は食品でなく栄養素なので、食品から栄養用語に変換することが必須である。この目的に食品組成の表が一般的に使用されるが、入手可能な表は必ずしも完全でないかまたは地域使用の一部食品に該当する。その上、そのような表は必然的に平均だけを述べており、特定の地域、季節、または食品サンプルで大きな誤りとなるかもしれない；
  - 4) 限定できる住民による実際の栄養摂取の分布に関するデータは、食事調査によって得られる。選択の方法は、注目して選んだ住民に基づく——特定地域の住民、特定の職業または社会 - 経済学的グループの一員、特定の年齢の人々、等——およびさらに特定した目的。食事調査でさらに広く用いる方法を以下に要約する。
-